

[ジェンダー平等推進へのわたしのコミットメント]

亀崎翔太さん 医療法人クオラ

わたしは、
職場における男性の育児休業担当者として、
ジェンダーギャップ解消のために、

○これから自分が上の立場になっていくので、上司・先輩として、後輩たちがジェンダーを感じないような接し方をしていきます。

(それが上司への良い影響になればいいなと思います。)

○男性の育児休業取得をさらに進めます。

○男性だけでなく、女性からも相談を受けることができるように、話しかけやすい雰囲気づくりに取り組みます。

○子育て期にある親の一人として、子どもたちが、ジェンダーにとらわれることなく自由に選択ができる環境を整えます。

・おもちゃ屋に行けば、男の子向けと女の子向けできっちり分けてあることが多く、選択肢が狭くなってしまふ。男の子向け・女の子向けに関係なく全体を見て、そこから選択できるように導く。子どもは大人より自由に動ける、考えられるが、環境をつくるのが難しい。ジェンダーに配慮した環境づくりを私たち大人がやっていく。